



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 株式会社よみうりランド

上場取引所 東

コード番号 9671 URL https://www.yomiuriland.co.jp/

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 烈

問合せ先責任者(役職名) 取締役 経理、関係会社担当(氏名) 町田 茂樹 (TEL) 044-966-1134

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,091	△39.7	512	△32.3	665	△26.9	△140	—
2020年3月期第1四半期	5,127	9.0	756	75.3	910	56.7	613	56.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △195百万円(-%) 2020年3月期第1四半期 256百万円(△32.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第1四半期	円 銭 △18.31	円 銭 —
2020年3月期第1四半期	79.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	66,632	28,401	42.6
2020年3月期	66,283	28,789	43.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,401百万円 2020年3月期 28,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年7月29日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,900	△15.0	1,100	△64.8	1,300	△61.5	120	△94.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年7月29日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,352,202株	2020年3月期	8,352,202株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	666,215株	2020年3月期	666,123株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	7,686,040株	2020年3月期1Q	7,686,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、遊園地、ゴルフ場、温浴施設などでの臨時休業や予約キャンセルなどにより、総合レジャー事業の各施設において入場者数が大幅に減少いたしました。その結果、売上高は30億9千1百万円(前年同四半期比39.7%減)となりました。

売上高の減少に伴い、営業利益は5億1千2百万円(同32.3%減)、経常利益は6億6千5百万円(同26.9%減)となり、特別損失に臨時休業による損失を6億9千2百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億4千万円となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<総合レジャー事業>

(公営競技部門)

公営競技部門は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、川崎競馬場、船橋競馬場とも2020年2月より場外発売が中止となり、本場開催も無観客での開催となりましたが、5月に船橋競馬場で行われた「かしわ記念」で過去最高の勝馬投票券売上を更新するなど、引き続き好調なインターネット投票に支えられ、増収となりました。

(ゴルフ部門)

ゴルフ部門は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京よみうりカントリークラブとよみうりゴルフ倶楽部が4月17日から31日間臨時休業となったことにより、入場者数が減少し、減収となりました。

(遊園地部門)

遊園地部門は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、遊園地が6月15日まで76日間臨時休業となったことで入場者数が減少したことなどにより、減収となりました。

(販売部門)

販売部門は、各施設の臨時休業などにより入場者数が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、総合レジャー事業全体の売上高は26億5千9百万円(前年同四半期比43.8%減)、営業利益は7億4千万円(同26.4%減)となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、売上高は2億9千7百万円(前年同四半期比0.2%減)、営業利益は2億7百万円(同1.1%増)となりました。

<サポートサービス事業>

サポートサービス事業は、売上高は連結内部工事の減少に伴い6億7千3百万円(前年同四半期比9.2%減)、営業損失は2千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、666億3千2百万円と前年度末に比べ3億4千9百万円(0.5%)増加しました。

流動資産は70億9千2百万円と前年度末に比べ5億2千5百万円(8.0%)増加しました。これは、受取手形及び売掛金が19億6千6百万円減少したものの、現金及び預金が26億8千5百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は595億4千万円と前年度末に比べ1億7千5百万円(0.3%)減少しました。これは、減価償却等により有形固定資産が1億6千1百万円減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、382億3千1百万円と前年度末に比べ7億3千7百万円(2.0%)増加しました。

流動負債は93億7千4百万円と前年度末に比べ2千4百万円(0.3%)減少しました。これは、短期借入金が20億円増加したものの、未払固定資産の減少等により流動負債の「その他」が11億9千7百万円減少したことや、営業未払金が6億2千5百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は288億5千6百万円と前年度末に比べ7億6千1百万円(2.7%)増加しました。これは、長期借入金が9億7千9百万円増加したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、284億1百万円と前年度末に比べ3億8千7百万円(1.3%)減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が3億3千2百万円減少したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は前年度末の43.4%から42.6%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、経済活動再開の動きが見え始めてまいりましたので、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年7月29日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,468,934	5,154,065
受取手形及び売掛金	3,262,719	1,295,918
たな卸資産	85,987	90,404
その他	749,866	552,195
流動資産合計	6,567,506	7,092,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,934,362	27,494,519
土地	16,246,423	16,291,888
建設仮勘定	3,649,585	3,892,728
その他(純額)	3,025,166	3,015,138
有形固定資産合計	50,855,537	50,694,275
無形固定資産		
その他	221,070	215,025
無形固定資産合計	221,070	215,025
投資その他の資産		
投資有価証券	8,239,363	8,158,046
繰延税金資産	273,359	302,103
その他	126,491	170,865
投資その他の資産合計	8,639,215	8,631,015
固定資産合計	59,715,823	59,540,317
資産合計	66,283,330	66,632,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	962,211	336,624
短期借入金	2,270,000	4,270,000
1年内返済予定の長期借入金	2,103,276	2,098,278
未払法人税等	703,156	615,126
賞与引当金	145,526	37,691
その他	3,214,351	2,016,650
流動負債合計	9,398,521	9,374,371
固定負債		
長期借入金	2,444,936	3,424,115
繰延税金負債	868,218	793,174
退職給付に係る負債	627,565	585,005
長期預り金	23,749,497	23,678,132
その他	404,817	376,269
固定負債合計	28,095,034	28,856,697
負債合計	37,493,556	38,231,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,662	4,730,662
利益剰余金	18,832,472	18,499,599
自己株式	△2,288,938	△2,289,262
株主資本合計	27,327,226	26,994,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,463,604	1,408,581
繰延ヘッジ損益	△1,058	△779
その他の包括利益累計額合計	1,462,546	1,407,801
純資産合計	28,789,773	28,401,832
負債純資産合計	66,283,330	66,632,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,127,580	3,091,703
売上原価	3,852,951	2,126,348
売上総利益	1,274,629	965,355
販売費及び一般管理費	518,225	453,305
営業利益	756,403	512,050
営業外収益		
受取配当金	152,010	152,013
その他	10,947	11,933
営業外収益合計	162,958	163,946
営業外費用		
支払利息	8,151	8,283
その他	762	2,322
営業外費用合計	8,913	10,605
経常利益	910,448	665,390
特別利益		
固定資産売却益	456	-
特別利益合計	456	-
特別損失		
固定資産除却損	26,498	188,409
臨時休業による損失	-	692,134
特別損失合計	26,498	880,543
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	884,405	△215,152
法人税、住民税及び事業税	219,003	3,185
法人税等調整額	52,179	△77,617
法人税等合計	271,182	△74,432
四半期純利益又は四半期純損失(△)	613,223	△140,720
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	613,223	△140,720

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	613,223	△140,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△356,683	△55,023
繰延ヘッジ損益	365	278
その他の包括利益合計	△356,317	△54,745
四半期包括利益	256,905	△195,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,905	△195,466
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループでは、新型コロナウイルスの感染拡大による施設の臨時休業などに伴い、総合レジャー事業の一部において売上高減少などの影響が生じております。施設の営業は順次再開しておりますが、競馬場の無観客での競馬開催や遊園地の運行アトラクションの制限など、様々な制限のもとでの営業となっております。

このため、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断においては、新型コロナウイルスの感染拡大による事業活動への影響は減少していくものの、その影響は2021年3月期末まで一定程度継続するという仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定については、前期末から重要な変更は行っておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

臨時休業による損失

当社グループでは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、施設の臨時休業を行っておりました。このため、臨時休業期間中に発生した固定費（減価償却費・人件費等）を臨時休業による損失として、特別損失に692,134千円計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,729,005	297,176	101,398	5,127,580	—	5,127,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,663	1,050	639,702	643,415	△643,415	—
計	4,731,668	298,226	741,100	5,770,996	△643,415	5,127,580
セグメント利益	1,005,622	205,033	19,241	1,229,896	△473,493	756,403

(注) 1. セグメント利益の調整額△473,493千円には、セグメント間取引消去△5,053千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△468,439千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,656,892	296,627	138,183	3,091,703	—	3,091,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,226	1,050	534,975	538,251	△538,251	—
計	2,659,118	297,677	673,158	3,629,955	△538,251	3,091,703
セグメント利益又は 損失(△)	740,154	207,288	△21,371	926,070	△414,020	512,050

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△414,020千円には、セグメント間取引消去△12,797千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△401,222千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。